

(1) 中央ブロック・渋谷区立常磐松小学校

(2) 教材名「帆かけ車」

(3) 使用学年・単元名

1年 生活科「風と あそぼう」

(4) 開発者

渋谷区立常磐松小学校 教諭 森 広海

(5) 教材概要

#### 材料

- ・板目紙（基本は1 / 4サイズ）
- ・ダブルクリップ（中型、2個使用）
- ・マジックテープ（裏はシールになっている。100円ショップで購入。）
- ・プラスチックダンボール(12×20cm、ダンボールの隙間の穴は大きい方がよい、教材屋さんをお願いして切ってもらった。)
- ・カラーゴムタイヤセット（ゴムは外して使う。4個セット、車軸付き、学納価格270円、大和科学教材研究所のカタログに載っている。）
- ・ボールキャスター（田宮模型、2個セット360円）

#### 作り方

ブラ段ボールの真ん中に5×10cmのマジックテープをはる。

ブラ段ボールの前輪取付位置に2,4×2,4cmの穴をあけ、ボールキャスターを上から差し込む。

カラーゴムタイヤの車軸をブラ段ボールの後方の穴に通し、ゴムタイヤを外したホイールを車軸に付ける。

マジックテープを付けたダブルクリップに板目紙を挟み、ブラ段ボールに取り付ける。

#### 使い方

- ・帆にうちわ等で風を送り、車を動かして遊ぶ。
- ・タイヤのゴムを外し、前輪にボールベアリングを取り付けることで、車をカーブさせやすくしている。
- ・体育館など広い場所で自由に遊ばせることにより、風の送り方で、帆かけ車が真っ直ぐ走ったり、カーブしたりすることに気付かせる。その後、子どもたちに気付きを生かしたコースを作って遊ばせることで、気付きを深めていくことができる。

